

平成 21 年 12 月 8 日

自民党川口支部 女性部研修会



自民党川口支部
女性部長 田口順子

去る12月1日 自民党川口支部では女性部の研修会を実施いたしました。当日は、朝9時に川口を出発 東京築地市場を見学し、衆議院第一会館(地元新藤義孝代議士事務所)を經由し、目的の自由民主党本部で研修会を行いました。研修に先立ち、川口順子参議院議員や埼玉県選出関口昌一参議院議員が挨拶に駆けつけ活気あふれる研修会となりました。

さて、研修内容は『私は自民党をこうして再建する』と題して稲田朋美衆議院議員(福井一区)を講師としてご教示賜りました。

稲田代議士は早稲田大学を卒業、85年に弁護士登録、05年第44回衆議院選挙で初当選。法務委員会委員・教育基本法に関する特別委員会委員。自民党新人有志の会「伝統と創造の会」会長など要職を歴任、先の衆議院選挙(平成21年8月実施)でみごと小選挙区福井1区から当選なされた議員であります。



(写真は講師の稲田朋美衆議院議員)

講義は「厳しい戦いだった」と、夏の衆議院選挙の総括から話が始まり、自民党再生に必要なものが何か、事例を交えてわかり易くご説明を頂きました。

マニフェスト選挙・政策選挙といわれたため、最初は民主党の政策の問題点を指摘、「子ども手当や高速道路無料化」など財源の問題などに触れておりました。しかし、途中から自民党政治に対する不信が逆風の原因であり、民主党の政策を支持しているわけではないと判断いたしました。そのため、後半戦は「この国と福井に対する思い・家族・ふるさと・伝統など自分が何を守りたいか有権者に伝えた」との事！

特に、印象的だったのは「地域に根差した、まじめに生きている人々に支持された本来の自民党の姿を取り戻さなければならない」ことを学びました。

『私たち女性部としても、立党の精神に立ち返り自民党の再生に協力していくことを決意いたしました』

また、某新聞の世論調査でも76パーセントの人が「自民党に立ち直ってもらいたい」と言っていることを考えると今こそ国民の期待に応えることが大切です。更に、この国の将来を委ねて頂ける政党としての信頼を構築していくことが求められていると感じており、地方支部においても 女性の立場から自民党の信頼回復に努めてまいりたく考えております。



自民党川口支部女性部「来年夏の参議院議員選挙に向けて頑張る決意」であります。

自民党本部前にて！